4. 公共サインの設置及び管理に関すること

経緯

景観形成を基本理念とした案内標識等の整備を行う木曾広域公共サインシステム整備事業は、旧国土庁や旧運輸省等の補助金を活用し、平成9年度からこれまでに1,000基を超える公共サインを整備した。

また各方面から本事業に対する評価を得て、平成13年には美しい信州の景観づくり功労賞を受賞している。

現状と課題

木曾圏域内の公共サイン整備は、平成18年度をもってほぼ完了し、その後は維持管理に努めてきた。今後は、改修を含めた適切な維持管理が重要となる。また、既存の商業看板のあり方に関する研究を推進する必要がある。

今後の方針

良好な景観形成に向け、既存公共サインの維持管理、商業看板のあり方に関する研究を行う。

施策

- ① 公共サインの改修
 - ・老朽等による圏域サインを中心とした改修
- ② 公共サインの維持管理
 - ・適切な維持管理体制の構築
- ③ 商業看板のあり方に関する研究

■ 公共サイン設置数

	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	合計
各年度事業費 (千円)	137,991	137,202	236,675	291,464	70,549	11,655	9,135	11,608	19,950	15,075	941,304
広域的に 設置した件数	27	13	36	29	6	2			5	2	120
町村別に 設置した件数	6	57	259	491	101	15	27	9		2	967
設置総数	33	70	295	520	107	17	27	9	5	4	1,087
(木曾町)	2	18	53	271	39	7	8	9		1	408
(上松町)		7	70	47	5	1	8				138
(南木曾町)				71	35						106
(木祖村)	4	23	37	8	3	1					76
(王滝村)			51	55	2		9				117
(大桑村)			19	12	3		2			1	37
(旧檜川村)		9	29	6	2	6					52
(旧山口村)				21	12						33